

教育目標  
 ひらこ世界へ  
 のびようとも  
 につくろう夢を  
 こえよう自分を

紙面から

令和5年度日野市教育委員会の主要な取り組み・1  
 今年度新たに着任した校長先生を紹介しす 他・2  
 市立幼稚園で育む力、ひのスポ!・他……………3  
 学びのチャンスいろいろ……………4

# 令和5年度 日野市教育委員会の主要な取り組み

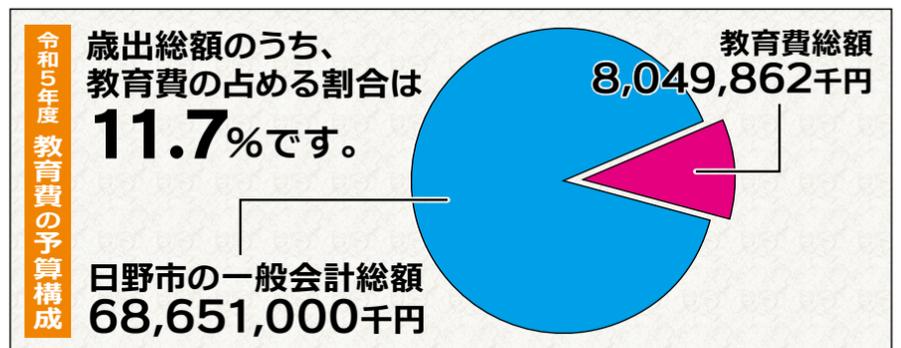
令和5年度は、日野市未来に向けた学びと育ちの基本構想(第3次日野市学校教育基本構想)の5年目(最終年)になります。基本構想で大切にしている対話をベースにしながらさまざまな取り組みについて、進めてまいります。

と教育費の予算構成についてお知らせします。

ぜひ、子供、家庭、学校、地域のみんなで日野のわくわくの学び・学び合いをつくっていきましょう。

問 庶務課(☎042-514-8692)

今号では、令和5年度の日野市教育委員会の主要な取り組みの一部



**みんな** 対話をしながらつくりあげていく  
 学び合い育ち合い **ひのわくわく** ムーブメント

一律一斉の学びから自分に合った多様な学びと学び方へ  
 自分たちで考え語り合いながら生み出す学び合いと活動へ

わくわくが広がっていく環境のデザインへ

## I. 学校教育部門

### 1. 一律一斉の学びから自分に合った多様な学びと学び方へ

#### 幼児教育・保育連携推進事業

公立や私立、幼稚園や保育園といった設置主体や運営形態に関わらず、特別な支援を必要とする子供や、幼児教育・保育から小学校教育への円滑な接続など、日野市の全ての子供たちの幼児教育の質の向上のため

- 幼児教育・保育の在り方検討委員会における検討
- 教育委員会と子ども部の連携による幼児教育・保育連携推進プロジェクトチームの設置による施策の推進に取り組む。

#### 第6次日野市特別支援教育推進計画

令和5年度～令和9年度までの計画期間で特別支援教育の推進及び進行管理を行う。

#### 【新規項目】

- 合理的配慮の推進
- 発達検査実施体制の再構築
- 医療的ケア児への対応
- 一人1台の学習者用端末(タブレットPC)等デジタルの活用

#### 自閉症・情緒障害特別支援学級運営支援

令和5年4月に東光寺小学校に小学校初めて「自閉症・情緒障害特別支援学級」を開設したことに伴い、円滑な運営を実施するためにコーディネーターを派遣する。



学習者用端末を活用した対話

### 2. わくわくが広がっていく

#### 環境のデザインへ

#### 部活動改革及び学校体育施設等を拠点としたスポーツを楽しむ子供・子育て支援事業

部活動改革を図るとともに、体育施設等を積極的に活用し、複数の種目を体験できる活動など、子供や子育て世代を中心とした持続可能なスポーツ環境の創出を図る。

#### 教員用パソコンの更新・集約化

教員用の校務パソコン約1,200台を更新し、あわせて、機能集約(校務パソコンと学習者用端末の一体化)を行い、教員の業務効率化を図る。また、今まで利用していた教員用の学習者用端末は、児童生徒向けオンライン配信や故障時の代替など、教育活動を支援するために活用する。

### 3. 「いのちを大切にし、いのちを守る」とともに生きるまち」の実現に向けて

#### 個の状況にあわせた不登校児童・生徒への支援

わかば教室では小学生と中学生が合同で学ぶ「わかばタイム」、自分に合った学習内容と学び方を見付ける「わかだミー」、ソーシャルスキルトレーニングなど一人一人の自立への学びを展開する。

不登校児童・生徒が将来の自立に向けて成長できるよう、長期休業日や通室できない日には、オンラインを活用して、他者との関わりをもちながら、学習したり相談したりする環境を拡充する。

わかば教室と学校との連絡を密に行い、通室生が抱えている様々な課題に対応する。

### 4. 子供たちの学びを支える

#### 学校施設の充実

#### 新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進事業

GIGAスクール構想や個別最適な学びなど、多様な学びの形態に適した学習スペースの検討を行い、これからのニーズに沿った地域の核となる「あたらしい学校づくり」推進計画策定に向けた準備を進める。

また、市立学校教育施設(幼小中)の劣化度調査を実施し、その結果を施設の方向性、保全方法の検討や個別施設計画などに反映させる。

#### 小学校屋内運動場冷暖房設備設置事業

令和7年度までに市内小学校全17校の体育館に冷暖房機を整備する。

### 5. 現代の教育課題に対応した施策

#### 第4次学校教育基本構想策定事業

第3次学校教育基本構想が令和5年度で期間が終了するため、次期学校教育基本構想を策定する。

#### 体験型英語学習施設を活用した外国語教育推進

立川市に新規に開設されたTOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGSでの体験を全中学校1年生を対象に実施するために体験料と交通費を補助する。



TGGでの教育活動の様子

## II. 生涯学習部門

### 1. 新たな学びの仕組みの推進

#### 第4次日野市立図書館基本計画の推進

令和5年度を計画の初年度とし、地域の図書館として、DXの推進、資料の更なる充実、レファレンスサービスや読書相談の充実、安全で居心地の良い施設整備等に取り組む。

#### 第2次日野市公民館基本構想・基本計画の推進

中間検証を踏まえ、地域住民による子供のため居場所づくりを応援する事業を充実させ、地域と学校を結ぶことで新たな学びを生み出し、多世代交流を促す事業を展開する。

### 2. 多様な主体による取り組みの推進

#### 「地域学校協働活動」の推進

各学校の要望に基づき、地域全体で児童・生徒の成長と学びを支えつつ、地域を創生する活動を推進する。  
 ①環境の醸成事業 ②地域未来塾事業 ③小学生土曜算数教室。

#### 巽聖歌没後50年特別展事業

児童文学者巽聖歌の没後50年を期した特別展の開催。聖歌の出身地である岩手県紫波町と連携し、学校教育や産業経済も視野に入れた事業展開を図る。



聖歌一家

### 3. 持続可能な社会教育環境の推進

#### 学校開放施設利用に関する利用者負担の検討

小中学校スポーツ施設と学校施設の一般開放利用における市民意見の聴取と利用者負担の検討を行う。

#### 文化財保護事業

クラウドファンディングを活用した、市指定文化財「日野宿本陣」の長期的保存に向けた建造物調査の実施。調査結果に基づく改修計画を策定する。

#### 社会教育施設個別施設計画策定事業

特に老朽化が進む中央・高幡・日野図書館と中央公民館を中心に、基本情報の整理、施設需要の把握を行い、施設全般の今後のあり方をまとめる。

# 今年度新たに着任した校長先生を紹介します

## 日野第一小学校

統括校長  
**小川 真由美**



本校は今年度、開校150周年を迎えます。継往開来を重ね、活気にあふれ、一人一人が輝く学校として成長していけるよう全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 豊田小学校

校長  
**加藤 敏行**



来年度、豊田小学校は開校150周年を迎えます。『One Team・違いを力に、チームワークで笑顔と活気あふれる一人一人が輝く学校』を目指して教育活動を進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

## 滝合小学校

校長  
**佐藤 美德**



浅川の清流に見守られる滝合小学校。豊かな日野の自然を活かし、「みんなに居場所や出番がある学校」を目指し、児童・教職員・保護者・地域の皆様と手を携えていきます。

## 日野第四中学校

校長  
**小島 幸子**



日野第四中学校に着任いたしました小島幸子です。四中の生徒たちと保護者、地域の方々と「一人のわくわくからみんなのわくわくへ!」。人の輪をつなげていきたいです。

## 三沢中学校

校長  
**金川 正樹**



三沢中学校の合い言葉は「頑張るときは、いつも今」です。生徒・教職員、保護者・地域の皆様と力を合わせて、より良い学校作りを目指します。どうぞよろしくお願いいたします。



発達・教育支援課

## 令和5年4月、東光寺小学校に つぐみ学級が開級しました

(自閉症・情緒障害特別支援学級)

日野市教育委員会は、令和5年4月に日野市内の小学校で初となる自閉症・情緒障害特別支援学級「つぐみ学級」を東光寺小学校に開級しました。本学級は発達障害等の特性により通常の学級での活動に参加するのが難しい児童を対象としています。

「つぐみ学級」は、1学級定員8名で、教科学習や自立活動を、個別の指導や少人数での指導で進めていきます。

学級名称である「つぐみ学級」の「つぐみ」は鳥の名前で、「成長する心」という意味があるそうです。名称は、学級開設に当たり、東光寺小学校の児童が、新しくできる学級に来る友達と、学校生活を楽しみながら、ともに心を成長させていきたいという願いを込めて決めました。



問 エール(発達・教育支援センター)  
(☎042-589-8877)

## 旭が丘 小学校 コミュニティ・スクールを導入しました

旭が丘小学校は、令和5年4月1日から市内で4番目のコミュニティ・スクールとしてスタートしました。旭が丘小学校では、開校当初から地域、保護者、学校が一体となった行事を行い、子供たちを健全に育成していこうという伝統が受け継がれています。また、特色ある教育活動の一つとして、学校内にある雑木林の活用があります。地域・保護者の方々に保全活動のお力をいただき、子供たちが四季折々の植物や生き物と触れ合う場として、活用しています。

コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を中心にみんなが学校づくりの当事者として、学校のスローガンである「みんなの笑顔が輝く学校」「地域の風が行き交う学校」となるよう努力してまいります。



委員一同力を合わせて、旭っ子を育てていきます

保護者・地域・教職員による 雑木林整備





# 生きる力の基礎を培う幼児教育

## ～市立幼稚園で育む力～

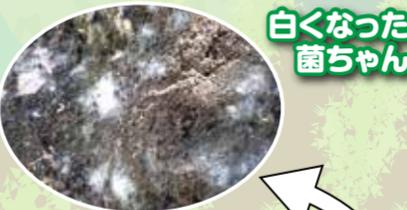


市立幼稚園では、「生きる力の基礎を培う幼児教育」「幼保小連携」「特別支援教育」を3つの柱として保育の充実を図っています。その中でも「生きる力の基礎を培う幼児教育」では、子供たちがすべての「人」「もの」「こと」に主体的に関わり、わくわくどきどきの体験を積み重ね、幼児期にふさわしい生活が送れるように環境を通した教育を大切にしています。その体験活動の一つに「野菜くずを使った土づくり」があります。これは、2010年(平成22年)にNPO法人「大地といのちの会」理事の吉田俊道氏のご指導から始まり、地域の「まちの生ごみ活かし隊」の方々の手厚い支援のもと活動は継続され、現在も子供たちの貴重な体験活動となっています。土づくり→栽培→収穫→食事→土づくりと循環することで、「いのちの循環」を学ぶ活動にもなっています。

ニンジンの葉っぱが出てくるところは“生長点”っていうんだよ。



～野菜とぼかし菌を混ぜる様子～



白くなった菌ちゃん



～土混ぜの様子～

### 育っています!

「菌ちゃんだ!土が温かい!!」

- 目には見えない“菌”を想像する想像力
- 野菜や土の変化に気付く思考力、興味・関心、知的好奇心
- 土づくりの不思議さで感じたことを表す表現力

### 土づくり

①家庭や近隣の施設(小中学校など)の調理から出た野菜くずを、分解しやすくなるように手でちぎる。

②ぼかし(米ぬかなどを原料に有機微生物を発酵させたもの)を野菜くずと混ぜる。

③ワラや雑草などで表面を覆い保温し、雨に濡れないようにシートをかぶせる。

④野菜くずが分解され始め、3日後にシートを取ると菌が土の表面を白く覆っている。空気を入れて更に分解が進むようによく混ぜる。

⑤再び土をかき混ぜる作業を繰り返す。すると野菜くずはすべて分解されてなくなり、土の栄養となる。1ヶ月で完成!!

### 食事

家庭で調理していただき家族で収穫を喜んで食べたり、幼稚園のお弁当に入れてもらったり、いろいろな食べ方を楽しみます。

### 育っています!

「いただきます」

- 家族と一緒に食べる楽しさ
- 野菜や食事を作る人への感謝

### 収穫

日に日に大きくなるのを喜びながら、食べ頃をむかえるのを待ちます。

### 育っています!

「キュウリって痛いよ～」

- 感触、色、匂いなどを諸感覚で体感
- 育てた野菜を収穫する喜び

このキュウリ、顔より大きい!



～野菜 収穫の様子～

### 栽培

季節ごとにいろいろな野菜を、畑、プランター、個人鉢などに植え世話をします。

### 育っています!

「見て!見て!花が咲いたよ!」

- 生長の変化の気付きや表現力
- 友達や教師との共感性
- 大切にしようとする気持ち・責任感

## 環境を通した教育

野菜がなくなってきているよ!

菌ちゃん、いっぱいお野菜食べてね!

子供たちが自ら“環境”に働きかけていくために、園内の環境の在り方や教師の関わり方などについて、個や集団に合わせた援助を行っています。子供自身が気付いたり、考えたり、驚きや喜びを感じたりすることで心が動き始めます。そこから興味・関心をもって活動に取り組む“意欲”が芽生え、「生きる力」の基礎が育まれていきます。今後も市立幼稚園では、直接的な体験活動として「土づくり」を続けていきます。

※イラストは出町書房より

教育指導課

## 『ひのスポ!』が始まっています



子供たちのための新しい地域クラブ活動「ひのスポ!」の一つとして、地域の実業団チームによる卓球アカデミーが、6月3日から平山中学校で始まりました。この日は市内中学校から集まった中学生34名が、初めて会った仲間と共にボールを打ち合い、一緒に汗を流しました。卓球の指導に当たるのは、日野市の実業団チーム「日野キングフィッシャーズ」と日野市体育協会及び日野市卓球連盟、各団体の協力のもと、6月から8月末まで指導をしてもらう予定です。

子供たちのスポーツ環境を学校だけでなく、地域でも支えていくという理念のもと始まった「ひのスポ!」は、今後も種目と開催場所を増やし、子供たちにスポーツの楽しさを届けていきます。



問 教育指導課 (☎042-514-8728)

## 令和5年度のひのっ子きょういくについて



「ひのっ子きょういく」は日野市教育委員会・日野市立学校の取り組みや、子供たちの体験活動に関する情報を広くお知らせすることで、教育活動の更なる充実を図ることを目的としています。令和5年度は6月・10月・3月の年3回発行予定です。

中央図書館



# 中央図書館は開館50周年を迎えました!



日野市の図書館は「本を市民のもとへ」という思いで、昭和40年1台のひまわり号から始まり、それから8年後の昭和48年に中央図書館が開館しました。

初代館長 前川恒雄氏は中央図書館を建てるにあたり5つの譲れない条件を掲げていました。

- 1. 新しい図書館サービスを形で表す
- 2. 親しみやすく、入りやすい
- 3. 利用しやすく、働きやすい
- 4. 図書館の発展・利用の変化に対応できる
- 5. 歳月を経るほど美しくなる



建築設計は初代館長前川恒雄氏の熱意を受け、鬼頭梓氏が担当しました。特に鬼頭氏が難しく感じたのは5つ目として掲げた「歳月を経るほど美しくなる」というものだったようです。

鬼頭氏は東京経済大学図書館の設計をし、後に多くの図書館を設計されました。特にこの中央図書館は、鬼頭氏の代表作の1つと評価され、日本

の図書館の設計に多大な影響を与えることとなりました。

「歳月を経るほど美しくなる」という思想のもとに建てられた日野市立中央図書館は50年の歴史を刻み、開館以来、多くの人に愛され、支持していただいている図書館となりました。

初代館長の著作である「移動図書館ひまわり号」(夏葉社2016)の「中央図書館の建設」という部分に建物建築時の様子が語られています。妥協を許さず、情熱を注いだやりとりはまるでドラマを見ているようです。そのようなことを思いながら館内を歩いていただくと、また違った景色が見えるかもしれません。これからもさらに美しい建物であり続けるよう、皆様のご利用をどうぞよろしくお願いいたします。



問 中央図書館(☎042-586-0584)

中央公民館

## 夏休み子どもカーデザイン教室を開催!

夏休みに「こんな車があったらいいな」「こんな車に乗りたいな」をコンセプトに自分でデザインしたスケッチを基にデザインの基礎からクレイモデルづくり講座を日野自動車プロダクト推進部の協力で、7月27日(木)に実施します。詳細は広報ひの7月号をご覧ください。



学びのチャンスいろいろ

## 新選組のふるさと歴史館で歴史学習

神明4丁目にある新選組のふるさと歴史館では、日野の江戸時代や幕末(江戸時代の最後の頃)に活躍した新選組のことを知ることができます。たとえば、歴史館の中には江戸時代の人を書いた手紙や絵、鉄砲や大砲の弾など当時の人たちが使った本物の資料が多く展示されています。夏休み期間には、クイズを解きながら江戸時代や新選組のことを学べる展示も開催します。ぜひ、新選組のふるさと歴史館で「歴史」を楽しみながら学んでみませんか。

### 日野新選組塾『子ども大人もクイズで目指そう免許皆伝』

【会 期】7月11日(火)~9月18日(月祝)  
9:30~17:00(入館は16:30まで)  
【休館日】月曜日(休日の場合は翌平日)  
【入館料】大人200円、小中学生50円  
【会 場】新選組のふるさと歴史館(☎042-583-5100)

ふるさと文化財課

## 田んぼの学校が始まりました!



毎年、稲作を通して自然や食について学ぶ田んぼの学校を開催しています。田んぼの学校役員の方と一緒に小さな稲が稲になるまで見守り、育てていきます。

会場は東光寺のよそう森公園と南平の浅川沿いの2か所で、田んぼの中ではカエルやアメンボなどたくさんの生き物を見付けることもできます。8月頃には、参加した皆さんで作ったかかしが大切な田んぼを守ります。



問 中央公民館(☎042-581-7580)

## 日野市郷土資料館には面白いものがいっぱいある。



程久保にある日野市郷土資料館には、昔の道具や日野で見られる動物や昆虫などの標本、日野で見付かった化石など、いろんな資料が展示してあります。7月から10月には、学校で

使っている副読本「わたしたちの日野」、「のびゆく日野」や学校給食の歴史などを紹介する展示を開催します。日野のことを調べたい、学びたいときは、ぜひ郷土資料館に遊びに来てください。



郷土資料館

## ひのっ子学び展 地域を知る副読本と給食

【会 期】7月15日(土)~10月1日(日) 9:00~17:00  
【休館日】月曜日(休日の場合は翌平日) 【入館料】無料  
【会 場】日野市郷土資料館(☎042-592-0981)

生涯学習課

## 各小学校でボランティアを募集します(地域学校協働活動推進事業)

各小学校において、地域の方々をボランティアとして募集します。ボランティアをしていただく分野は学習支援、環境整備支援、登下校の児童の見守り、学校行事の支援の4つの分野があります。

- 1 学習支援 家庭科の授業実習や本の読み聞かせなど、先生の指示の下で子供たちの手助けをします。
- 2 環境支援の例としては学校の花壇の整備やビオトープ、校舎内の修繕などがあります。
- 3 登下校の見守りは子供たちの学校と家との行き帰りの際の交通安全や不審者からの見守りをします。
- 4 学校行事支援の例としては運動会などの校門付近の交通安全や自転車置場の整理などがあります。



各小学校により、募集するボランティア活動の内容は異なりますので、詳しくはお近くの学校または生涯学習課までお問合せ下さい。

問 生涯学習課(☎042-514-8765)